



## はじめに

---

この前書きは、次の項で構成されています。

- [このマニュアルについて](#), [i ページ](#)
- [対象読者](#), [i ページ](#)
- [新機能および変更された機能に関する情報](#), [ii ページ](#)
- [表記法](#), [ii ページ](#)
- [関連資料](#), [iv ページ](#)
- [ドキュメントに関するフィードバック](#), [iv ページ](#)
- [ドキュメントの入手方法およびテクニカルサポート](#), [iv ページ](#)

## このマニュアルについて

このマニュアルでは、APIC REST API を使用してコマンドおよびクエリーを作成して Application Policy Infrastructure Controller (APIC) に送信する方法について説明します。このマニュアルでは、一連の共通タスクに関する例が提供されますが、Cisco Application Centric Infrastructure (ACI) フェアブリックの完全な機能セットを設定する方法については説明せず、API のクラス、メソッドまたはデータ タイプの一覧表示はありません。

## 対象読者

このマニュアルは、プログラミングと API の使用について背景知識を持つソフトウェア エンジニアを対象としています。エンジニアは、XML および JSON、RESTful Web サービス API、データ システム、ネットワークング プロトコルおよびストレージ プロトコルの知識が必要です。

## 新機能および変更された機能に関する情報

次の表では、このガイドでの重要な変更点の概要を示します。ただし、このリリースまでのこのガイドの変更点や新機能の中には一部、この表に記載されていないものもあります。

日付	セクション	変更内容
2016年1月17日	その他の例	「XML API および OwnerTag を使用した監査ログ情報のアクションへの追加」が追加されました。
2015年5月27日	クエリースコープフィルタの適用	rsp-prop-include の説明が追加されました。
2015年5月12日	一般的なタスクの実行	「自分のユーザクレデンシヤルの変更」が追加されました。
2015年4月8日	タグおよびエイリアスの使用	すべてのオブジェクトクラスがタグ付けをサポートするわけではありません。
2015年3月12日	API コマンド本文の作成	JSON の「attributes」要素は、「children」配列またはその他の要素に先行する必要があります。

## 表記法

コマンドの説明には、次のような表記法が使用されます。

表記法	説明
<b>bold</b>	太字の文字は、表示どおりにユーザが入力するコマンドおよびキーワードです。
<i>italic</i>	イタリック体の文字は、ユーザが値を入力する引数です。
[x]	省略可能な要素（キーワードまたは引数）は、角カッコで囲んで示しています。
[x   y]	いずれか 1 つを選択できる省略可能なキーワードや引数は、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
{x   y}	必ずいずれか 1 つを選択しなければならない必須キーワードや引数は、波カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。

表記法	説明
[x {y   z}]	角カッコまたは波カッコが入れ子になっている箇所は、任意または必須の要素内の任意または必須の選択肢であることを表します。角カッコ内の波カッコと縦棒は、省略可能な要素内で選択すべき必須の要素を示しています。
variable	ユーザが値を入力する変数であることを表します。イタリック体が使用できない場合に使用されます。
string	引用符を付けない一組の文字。string の前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めて string とみなされます。

例では、次の表記法を使用しています。

表記法	説明
screen フォント	スイッチが表示する端末セッションおよび情報は、screen フォントで示しています。
太字の screen フォント	ユーザが入力しなければならない情報は、太字の screen フォントで示しています。
イタリック体の screen フォント	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体の screen フォントで示しています。
<>	パスワードのように出力されない文字は、山カッコ (<>) で囲んで示しています。
[ ]	システム プロンプトに対するデフォルトの応答は、角カッコで囲んで示しています。
!, #	コードの先頭に感嘆符 (!) またはポンド記号 (#) がある場合には、コメント行であることを示します。

このマニュアルでは、次の表記法を使用しています。



(注) 「注釈」です。役立つ情報やこのマニュアルに記載されていない参照資料を紹介しています。



注意

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。



警告

#### IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

This warning symbol means danger. You are in a situation that could cause bodily injury. Before you work on any equipment, be aware of the hazards involved with electrical circuitry and be familiar with standard practices for preventing accidents. Use the statement number provided at the end of each warning to locate its translation in the translated safety warnings that accompanied this device.

SAVE THESE INSTRUCTIONS

## 関連資料

シスコ アプリケーション セントリック インフラストラクチャ (ACI) のドキュメント

ACI のドキュメントは、次の URL で入手できます：<http://www.cisco.com/c/en/us/support/cloud-systems-management/application-policy-infrastructure-controller-apic/tsd-products-support-series-home.html>

#### API 関連資料

API クラス、プロパティ、データ タイプの詳細な参照情報については、Web ベースのアプリケーションである『*Cisco APIC Management Information Model Reference*』を参照してください。

API を使用した多くの一般的なタスクの詳細な手順については、『*Cisco APIC Getting Started Guide*』で確認できます。

これらのドキュメントへのリンクは、上記の URL の「*Cisco Application Centric Infrastructure (ACI) Documentation* (シスコ アプリケーション セントリック インフラストラクチャ (ACI) のドキュメント)」のページを参照してください。

## ドキュメントに関するフィードバック

このマニュアルに関する技術的なフィードバック、または誤りや記載もれなどお気づきの点がございましたら、[apic-docfeedback@cisco.com](mailto:apic-docfeedback@cisco.com) までご連絡ください。ご協力をよろしくお願いいたします。

## ドキュメントの入手方法およびテクニカル サポート

ドキュメントの入手、Cisco Bug Search Tool (BST) の使用、サービス要求の送信、追加情報の収集の詳細については、『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。

新しく作成された、または改訂されたシスコのテクニカル コンテンツをお手元に直接送信するには、『[What's New in Cisco Product Documentation](#)』 RSS フィードをご購読ください。RSS フィードは無料のサービスです。

